

静岡県立富士高等学校

令和7年度 学校関係者評価実施報告書

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	日常的な授業改善への取組等を通し、生徒の主体的な学びを促し、学力の向上を図る。	●「授業(分かりやすさ、意欲等)は概ね適切」と答える生徒・保護者 90%以上	B	B	・正しく学ぶためのサポートができているかも重要である。 ・1年生に対しては、中学とのギャップがあり、中学校との連続性に注意してほしい。
		●「授業改善に取り組んだ」と答える教員 100%	A	A	・実際に改善したかを客観的に評価したい。 ・生徒の授業評価をアンケートに入れてはどうか。
		●「タブレットを効果的に授業に活用している」と答える教員 100%	A	A	・デジタルスキルの向上、ノウハウの交換を組織的に進めてほしい。 ・生徒の授業評価をアンケートに入れてはどうか。
		●「主体的に学習に取り組んでいる」と答える生徒・保護者 85%以上 ●「学校は生徒の学力向上に努力している」と答える生徒・保護者 80%以上	A	A	・主体的に取り組めない生徒に対して、適切な課題を与え、全体の底上げを図っている点は評価できる。
		● 理数科生徒及び担当教員課題研究への満足度の向上	B	B	・能力が高い生徒のニーズに、教員が追いついていないのではないかと。 ・専門性のある理数研究としての位置付けを充実したものにしてほしい。
		● 各種行事生徒満足度 4.5 以上(満点 5.0 点)	A	A	・生徒に高いレベルでの刺激を与えることができるよう、内容の工夫を重ねてほしい。
イ	高いところざしを育み、進路実現を図る、計画的・組織的・継続的な進路指導を実践する。	●「学校は、生徒の進路希望に沿った適切な進路指導をしている」と答える生徒・保護者 85%以上	A	A	・保護者に伝わっていない状況を改善する必要がある。 ・東大見学会、OBの大学別セミナー等を実施して、生徒評価は肯定的である。保護者・生徒・教師のコミュニケーションを密にし、引き続き取り組んでほしい。
		●「学校は、生徒の進路希望実現のために適切な情報を提供している」と答える生徒・保護者 85%以上	B	B	・ICTを利用して情報共有することも可能。学校の発信が充分になされていたとしても、上手に届いていないかもしれない。 ・希望する保護者には講演会に参加してもらうなど、保護者も当事者として巻き込んだ形で進路選択に資する情報を提供することが有効なのではないか。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ウ	富士高生にふさわしい品位ある態度や行動を促すとともに、リーダーとしての社会性や国際感覚を育む。	●「学校は基本的な生活習慣を身に付けるよう適切な指導をしている」と答える生徒・保護者 90%以上	A	A	・富士校のブランドイメージを損なうことのない生徒の姿に好感が持てる。 ・基本的な部分なので、指導内容などが適切と判断されていて安心。
		●「頭髪、服装指導等、学校の生徒指導に共感できる(理解している)」と答える生徒・保護者 90%以上	A	A	・保護者も実感していると思われる。 ・基本的なものなので、しっかり行われていて良い。返事や挨拶等は徹底してほしい。
		●「富士高生のモラルやマナーはよい」と肯定する生徒・保護者 90%以上	A	A	・必要性を自然に理解し、自主的に行動できるよう指導してほしい。 ・SNS に関しては、注意して指導、もしくは注視し続けてほしい。
		●国際感覚の涵養等に資する研修会等への参加生徒の増加	C	C	・「国際感覚を育む」ことについて、再度見直す時期かと考える。もっと力をいれるべき。 ・海外に行くこともよいが、例えば定時制に在籍する外国にルーツを持つ生徒と交流するなど、費用のかからない形で国際理解を高める方法もあるかもしれない。
		●自転車事故件数 15 件以下	A	A	・目標達成には実現可能な数値目標が必要だが、事故は1件でも死亡事故であれば大きな問題となる。。目標数値を考慮し、事故件数0を目指していただきたい。 ・スマホやイヤホンなどの「ながら」の抑止には特に留めてほしい。
		●「学校の交通事故等に関する指導は適切である」と答える生徒・保護者 90%以上	A	A	・被害者にも加害者にもなり、その結果は重大であることをしっかり指導する必要がある。
		●いじめ0件	B	B	・いじめや非行等、目に見えないネット上でのルールについて、意識して対応していく体制を維持してほしい。 ・潜在的な SOS の把握、発信しやすい環境の整備に努めてほしい。
		●非行等の問題行動 0件	B	B	・現代の高校生世代にとって、自分を守り、相手を傷つけないためにネットリテラシーは特に重要。命にかかわると認識させるべき。 ・ネットでの繋がり把握するのは難しい。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
エ	豊かな感性を育み、心身の健康の保持・増進を図る。	● 学校図書館の蔵書の貸出数 1500 冊以上	A	A	・感想文コンクールでの全国上位入賞、貸出数の増加と共に素晴らしい。 ・全体の貸出数だけでなく、「1人〇冊以上〇%」という指標で全体の底上げを図る必要があるのでは。
		● 「学校は生徒の健康、安全、衛生面に配慮している」と答える生徒・保護者 85%以上	B	B	・健康状態の把握にとどまらず、「健康は何よりも大切」というメッセージをしつかり伝えてほしい。 ・精神衛生に重きをおいてほしいと思います。
		● 「学校は悩みや相談に適切に対応している」と答える生徒・保護者 80%以上	B	B	・「悩むのは当たり前のこと」を前面に出し、メンタルヘルス向上のために声を出しやすい環境を整えてほしい。 ・スクールカウンセラーの利用状況を提示してはどうか。
		● 講演会等の実施	A	A	・特にオーバードーズの抑止に力を入れてほしい。
		● 学習環境の改善・安全対策修繕 10 か所以上	A	A	・全体の改善・修繕数ではなく「〇カ所必要なうち、〇カ所実施した」という指標が望ましいのではないかと。 ・教員、生徒からの改善提案などがあると良い。
オ	組織的な学校運営と家庭・地域等への情報発信により、信頼関係を築く。	● 週に1回以上、学校ホームページを更新する。	A	A	・「ホームページの更新」だけで満足せず、実際に見られているかを検証し、見せ方全体の改善を図る。
		● 「学校からの情報は内容に富み参考になる」と答える生徒・保護者 80%以上	B	B	・情報発信は、負担減のためにもデジタル機器を最大限利用してほしい。 ・手間はかかるが、直接的な対面による情報発信に力を入れるべき。
		● 「研修等を通し、不祥事根絶に向けた意識が高まっている」と答える教職員 100%	B	B	・研修だけに頼らず、教員同士の同僚性やコミュニケーションの意識を高めることが重要ではないかと。 ・職員の自覚の有無は数値で測れないので難しいが、徹底に向けて継続する。
		● 「防災意識が高まった」と答える生徒・教職員 80%以上	A	A	・学校が避難所になった場合を想定し、地域と学校の役割分担などを日頃から話し合っておくべき。災害時に生徒が地域の戦力となるよう、スキルを高める。
		● 「家庭で防災に関する話し合いを行った」と答える生徒・保護者 50%以上	A	A	・生徒が家庭で「防災についてこういうことを学んだ」と話したくなるような内容を意識する。 ・本来は学校内の防災、及び防災意識が向上できれば充分。
カ	適切な事務の執行を行い、信頼される事務室を目指す。	● 監査における指摘 0件	A	A	・不適切な執行が起きないように、教職員一丸で意識や知識を高める。
		● 経営予算執行残が 0.5%未滿	A	A	・前年踏襲にとどめず、必要なところにはしっかりと予算を回しきっちり使い切る。
		● 施設設備における事故発生 0件	A	A	・初期の損壊や不備について、即時に情報が寄せられるよう意識喚起を怠らない。

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
キ	働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。 働き方改革を踏まえた業務改善を推進する。	● 1分掌1業務改善の提言	B	B	・業務に優先順位をつけ、時間や頭数を考えて十分な効果を得られないと判断したら、思い切ってカットする。
		● 「部活動ガイドライン」の趣旨を遵守している部活動 100%	B	B	・短時間で効果的な練習を、教員と生徒が知恵を出し合って実現する。
		● 年休取得前年度比増(最低5日以上)	A	A	・基本的な業務量を削減し、休むことの心理的ハードルを下げる。
		● 時間外業務の対前年比5%減少	B	B	・校長をはじめ管理職が責任を持って業務の削減や精選を進める。「それは果たして教員の仕事か」という観点を持つ。 ・前年度比減の目標を維持することは難しいのでは。